

令和7年度 事業報告について

○こだかさ障害者支援センター（就労継続支援A・B）

1 事業の内容

（1）開所（就労）日数 261日（第2・4土曜日営業日）

- ・木工科 8:30～17:00
- ・軽作業/洋裁科 9:00～16:00
- ・理美容科/鍼灸マッサージ科 ㊟8:30～15:30 ㊞10:00～17:00

（2）利用者数

（R8.3.31現在 単位：人、％）

区分(定員)	木工科	洋裁科	鍼灸マッ サージ科	理容科	美容科	計（現員）	実利用者数 及び％	
A(10)	5 (5)	—	—	1 (1)	1 (1)	7 (7)	6.8	68%
B(44)	30 (30)	3 (4)	6 (8)	1 (1)	—	40 (38)	34.7	79%
計(54)	35 (35)	3 (4)	6 (8)	2 (2)	1 (1)	47 (50)	—	—

※下段の（ ）は前年度、実利用者数＝延べ利用者数÷延べ開所日数

（3）令和7年度平均月額工賃等（秋/春の奨励金含む）

（単位：人・円）

区 分 年額/12月		3万未満	3～10万	10万以上	最高額	最低額	月平均
A型		—	—	7 (7)	278,186 (222,169)	146,637 (131,384)	217,132 (176,396)
B 型	木工科	16(4) (11(1))	14 (16)	4 (4)	130,058 (138,737)	1,895 (2,284)	53,424 (57,734)
	洋裁科	4(1) (4)	—	—	18,589 (17,631)	3,435 (3,109)	9,097 (14,673)
	理容科	—	1 (1)	—	67,203 (62,228)	—	67,203 (62,228)
	美容科	—	—	—	—	—	—
	鍼灸マッサージ	3(2) (3)	3 (3)	2 (2)	149,092 (114,300)	3,263 (9,001)	60,524 (81,549)
	計	23(7) (18(1))	18 (20)	6 (6)	—	—	61,178 (56,281)
A型＋B型 54(7) (51(1))		23(7) (18(1))	18 (20)	13 (13)	—	—	—

※（ ）は年度中に転出した利用者数の再掲、下段の（ ）は前年度

※令和6年度 高知県内就労継続支援（A型・B型）事業所の平均月額工賃

A型 24施設 102,740円、B型 119施設 28,269円

(4) 売上/工賃内訳

(単位：千円)

区 分	木工科	洋裁科	鍼灸マッサージ	理容科	美容科	喫茶	合計
A売上	30,848 (24,492)	—	—	1,845 (1,706)	1,639 (1,497)	464 (427)	34,796 (28,122)
B売上	45,179 (57,044)	765 (977)	6,815 (6,061)	101 (357)	—	—	52,860 (64,439)
合 計	76,027 (81,536)	765 (977)	6,815 (6,061)	1,946 (2,063)	1,639 (1,497)	464 (427)	87,656 (92,561)
A賃金	14,499 (11,660)	—	—	1,565 (1,423)	1,566 (1,419)	348 (316)	17,978 (14,818)
B工賃	18,524 (15,643)	325 (299)	5,777 (4,991)	806 (747)	—	—	25,432 (21,680)
法定福利費	2,450 (1,813)	—	—	276 (264)	282 (254)	—	3,008 (2,331)
※作業員賃金	4,045 (1,806)	—	—	—	—	—	4,045 (1,806)
合 計	39,518 (30,922)	325 (299)	5,777 (4,991)	2,647 (2,434)	1,848 (1,673)	348 (316)	50,463 (40,635)
人件費の割合(%)	52.0 (37.9)	42.5 (30.6)	84.8 (82.3)	136.0 (118.0)	112.8 (111.8)	75.0 (74.0)	57.6 (43.9)

※下段の()は前年度

(5) 行事等活動内容

《理事会・評議員会・法人監査》

- ① 令和7年5月30日 法人監査(5年度決算等)
- ② 令和7年6月 5日 令和7年度第1回理事会
- ③ 令和7年6月30日 令和7年度第1回評議員会
- ④ 令和7年6月30日 令和7年度第2回理事会(書面決議)
- ⑤ 令和7年8月30日 令和7年度第3回理事会(書面決議)
- ⑥ 令和7年11月20日 令和7年度第4回理事会(書面決議)
- ⑦ 令和8年 3月28日 令和7年度第5回理事会
- ⑧ 令和8年 6月11日 令和8年度第1回理事会
- ⑨ 令和8年 6月29日 令和8年度第1回評議員会

《定例職員会、新型コロナ感染防止委員会及び安全衛生委員会の開催》

毎月第1金曜日に定例職員会及び新型コロナ感染防止委員会、安全衛生委員会を開催し、各科の現況や利用者支援の方策、安全衛生対策や感染防止対策などについて全員参加により協議及び検討を行った。

(主な内容)

理事会・評議員会の報告、障害者スポーツ大会への参加、研修旅行の検討、地域における公益的な取組の検討、消防訓練及び避難訓練、フードドライブへの協力案内、自転車の危険な運転の罰則

強化など

《職員朝礼の開催》

毎朝、ラジオ体操終了後、職員朝礼で、利用者/職員の出欠、健康状況、職員出張・外出等のスケジュールを共有し、利用者・職員の安全確保、業務の円滑化に努めた。

《研修・会議・監査等》

- ・令和7年9月19日 高知市指導監査
- ・令和7年9月16日 JKA補助金交付申請
- ・令和7年10月21日 虐待防止・身体拘束の職員研修
- ・令和7年11月18日 過重労働についての研修会
- ・令和7年11月10～11日 高知サービス管理責任者等基礎研修
- ・令和7年11月21日 解体工事入札
- ・令和7年11月26日 日本財団監査
- ・令和8年 2月19日 社会福祉施設総合保険制度説明会

《行事等》

- ・令和7年6月 1日 第27回高知県障害者スポーツ大会(春野運動公園)
- ・令和7年5月31日 高知県共同募金会助成事業及び要望の申請
- ・令和7年5月25日 第27回高知県障害者スポーツ大会(ボウルかつらしま)
- ・令和7年6月 高知市社会福祉法人連絡協議会「フートドライブ事業」への協力
- ・令和7年8月12日～18日 夏期休暇
- ・令和7年 9月12日 高知検診クリニック(利用者)*職員の定期健康診断は随時
- ・令和7年11月28日 消防訓練及び洪水・津波を想定した立ち退き避難訓練(自主訓練)
- ・令和7年12月13日 地域の清掃活動、お弁当配布及びレクリエーション
(利用者・職員による清掃活動後、利用者へのお弁当の配布及びレクリエーションを行う。)
- ・令和7年12月18日～19日 研修旅行(1泊2日):大阪ユニバーサルスタジオ等
- ・令和7年12月 高知市社会福祉法人連絡協議会「フートドライブ事業」への参加
- ・令和7年12月22日 都品川区長施設見学
- ・令和7年12月28日 「仕事納め式」
- ・令和8年 2月27日 夜間(くすのき寮)の消防訓練(通報、避難、消火)及び洪水・津波を想定した垂直避難訓練(自主訓練)
- ・令和8年 2月24日 特別清掃(本館1～3階、ワックス掛け)

《実習・見学等》

- ・令和7年6月 4日 県立日高特別支援学校みかづき(しんほんまち)
生徒5名、教員3名計8名
- ・令和7年6月12日 県立日高特別支援学校みかづき高等部
1年生徒7名、教員2名計9名
- ・令和7年6月19日 県立日高特別支援学校みかづき高等部
1年生徒6名、教員3名計9名

《表彰》

- ・令和7年11月19日 高知県社会福祉大会会長表彰 金子信志

(6) 課題への対応

《こだかさの「基本方針」に基づく実践》

- ・ 当法人の「基本方針(助け合い、支え合い、高め合い)」に基づき、利用者・職員が互いに目配り、気配り、心配り、声掛けをしながら、信頼関係に基づく風通しの良い職場づくりに努めた。

《グループホーム第二くすのき寮(仮称)の建設》

- ・ 法人あげて、令和8年度末グループホーム第二くすのき寮建設のため、県有地の取得、解体工事等の実施とともに、JKA補助事業の申請に取組み、補助金は要望額通りの採択を得た。今後は、中東情勢の状況を踏まえ、関係者と協議し、その建設・整備を円滑に進めるとともに新寮の入居者の確保、センター利用者の増員に努める。

《6 S 運動の継続》整理、整頓、清掃、清潔、習慣(あいさつ)、スマイル(笑顔)

- ・ 毎週の木工科の朝礼での啓発活動とともに毎月の職員会において、各科の目標や取組、成果について発表し、職場環境の改善、業務の効率化とともに利用者・職員の意識の向上に努めた。

《新型コロナ・インフル感染防止対策》

- ・ 引き続き、福祉施設の観点から、以下の取り組みを継続している。

① マスク：職員、利用者、来客者とも任意のマスクの着用。

② 検 温：体調には十分に気を付け、熱がある場合には、職員に申し出。
くすのき寮は、毎日検温・記録。

③ 消 毒：早出による消毒。玄関の来客テーブルの使用後の消毒

併せて、

- ・ 利用者に、「5月の連続休暇期間中の感染症防止対策への協力について」を配布し、周知に努めた。
- ・ 令和7年11月に利用者・職員のインフルエンザ予防接種希望者への接種(国吉病院)を行った。

《職員の高齢化や世代交代》

- ・ 職員の高齢化や世代交代を踏まえ計画的な人材確保に取り組んでいる。
令和7年4月1日より、臨時職員1名及びパートタイム(1名)、11月にパートタイム(1名)を採用した。
臨時職員(1名)は、10月1日から正職員に、パートタイム(1名)は9月末で退職。
令和8年3月末で、正職員3名退職。(うち2名を再任用)

《就労継続支援A型・B型等の新規利用者の確保》

- ・ コロナ感染のある程度の落ち着きを見せているなか、相談事業所からの新規利用者入所に向けての見学・体験希望依頼や、特別支援学校等の見学・実習を通じたPRにより、新規利用者の確保に努めた。今後とも危機感を持って、第二グループホーム入居者の確保とともに利用者及び登録者の増員に全力を傾注する。

○利用者数の推移(A型+B型)

28年度(50名)29年度(48名)30年度(48名)元年度(47名)2年度(49名)
3年度(42名)4年度(44名)5年度(45名)6年度(50名)7年度(47名)
*6年度 6名入所、1名(死亡)、7年度 4名入所、6名退所・1名死亡

《個別支援会議》

・利用者支援については、社会福祉法人としての公益性、専門性、障害や障害者へのより理解を深め、利用者・職員が互いに信頼関係に基づく質の高い支援が求められる。

制度改正に伴い、利用者本人の参加をもとに、サービス管理責任者、管理者、担当者及び部科長等で構成する個別支援会議を開催し課題を共有し、個別支援計画を策定した。

また、毎朝の朝礼で、利用者のその日の活動を職員間で情報共有し、きめ細かな支援を行った。

なお、最近、当法人がこれまでノウハウがなく、受け入れを躊躇していた精神障害のある利用者の増加があり、一人一人に応じた障害の理解とその支援のむつかしさを痛感しており、職員のより一層の学びが必要である。

・令和7年9月8日～30日 令和7年度後期の個別支援計画を策定

・令和8年 2月17～2月28日 令和8年度前期の個別支援計画を策定

《社会福祉充実計画》

・県有財産(旧県盲ろう福祉会館跡地)の取得に伴う有効活用(第二グループホームの建設)により、8年度に「承認社会福祉充実計画終了に伴う承認申請書」を提出し、高知市の承認によりこの計画は終了する見込み。(市指導監査課と協議済)、

《労使協定》

・令和8年3月31日 定例職員会において時間外労働等について説明し、労働者代表の同意を得、労働基準監督署に提出

《契約・補助金・助成金》

- ・公立学校共済組合高知宿泊所(高知会館)物品等取引契約
- ・龍馬マラソン記念メダル共同受注
- ・NHK歳末たすけあい助成事業
- ・特定求職者雇用開発助成金
- ・高知市障害者支援施設物価高騰緊急対策給付金
- ・高知県競馬組合
- ・共同募金会

《県教委申請関係》

・手話通訳者養成講座、高知市委託事業手話奉仕員養成講座受講生の駐車場確保について盲学校使用申請を行った。

《行政及び関係団体・法人の会議出席等》

- ・高知県障害福祉課(県有財産の取得に伴う境界調査督促、分筆登記、取得申請)
- ・高知市障がい福祉課(JKA補助金申請に伴う市長意見書協議・提出)
- ・高知市指導監査課(社会福祉充実計画、県有地取得に伴う定款変更協議)

- ・社会福祉法人愛成会理事会
- ・社会福祉法人高知慈善協会理事会
- ・社会福祉法人高知新聞社福祉事業団評議員会
- ・高知県社会福祉法人経営者協議会理事会・総会
- ・高知県身体障害者(児)施設協議会総会
- ・高知県盲学校運営協議会、文化発表会、運動会
- ・高知市社会福祉法人連絡協議会役員会・総会
- ・若一王子宫秋季大祭お神輿巡幸(おなばれ)
- ・城西防災フェア(城西中)
- ・上町交番連絡協議会(山ノ端交番、上町交番に統合)

《各部・科の取組内容の報告》

① 木工部木工科

(鳴子の生産状況と在庫生産計画)

- ・令和7年度の売り上げが10%減の要因としては、6年度のNCルーター故障による減産が完成品や半製品の在庫に影響を与えたものと思われる。

日本財団助成により購入したNCルーターのフル稼働とともに利用者の確保により、乗り切りたいと考えている。

一方で、木工機械を使える人員が減少する中、人員補強と並行して将来計画の策定による機械購入や外注支援を検討し、鳴子の生産管理に努める。

- ・令和8年度は3月末に始まった中東情勢の影響により、塗装用シンナーが入手困難になり、標準型朱色や特注色などの受注が受けられなくなり、先行きが不透明の中、売り上げに大きな影響を与えるので、出来るだけ顧客に白木鳴子に焼印や印刷での付加価値を付けて販売を強化することとする。

(木工製品の販売向上と新商品の開発)

- ・人気商品の在庫を整える生産管理を行い、販売向上に努める。
- ・利用者の高齢化に対して、技術を新たに利用者に引き継ぎつつ、既存の商品や新たな製品の開発に努め受注の拡大を図る。
- ・木材協会及び木工連と連携して、図面の作成やNCルーター・レーザー加工機、UVプリンター機器を活用して木工製品の受注販売、ふるさと納税での販売向上を目指す。

(軽作業)

- ・YAMAKINの作業を主体としつつ、各種メダルの紐付けや缶バッチの制作などを行い、売上げの向上を図るとともに、利用者の生活リズムに気配りをしながら健康維持に努める。

(販売活動)

- ・令和7年4月23～29日 高知大丸 木工製品の販売
- ・令和7年6月16日～17日 商談会(高知県東京事務所・港区)
- ・令和7年7月26、27日 高知商工会議所 親子木工教室
- ・令和7年8月2～3日 朝霞市民まつり(彩夏祭)販売・鳴子教室

- ・令和7年8月9日 サニーマート 鳴子の組立教室
- ・令和7年8月10、11日 よさこい祭り「市民憲章・鳴子の組立教室」
- ・令和7年8月10～12日 おまち多目的 販売
- ・令和7年8月23日 中四国子供会 鳴子の組立教室
- ・令和7年8月23、24日 原宿表参道元氣祭スーパーよさこい 販売・鳴子組立
- ・令和7年8月28日～9月9日 MOCTION展示(都新宿区) 木材協会に委託
- ・令和7年9月3～9日 高知大丸 木工製品の販売
- ・令和7年10月16日 高知家ミニ展示商談会(産振センター大阪)ノベルティグッズ、木材協会に委託
- ・令和7年10月24、25日 山西プロウdstailフェア(名古屋)木工製品 木材協会に委託
- ・令和7年10月25日 高知市鏡地域振興課 木工教室
- ・令和7年10月26日 矯正展(高知刑務所)木工製品の販売
- ・令和7年11月15日 障害者作品展(とさのさと) ワークショップ・商品販売(SELP共同)
- ・令和8年 1月28日 東横インホテル 木工製品納品(木工連)
- ・令和8年2月7日～8日 四国物産展(明石市) 鳴子の組み立て
- ・令和8年2月16日 高知龍馬マラソン2025 鳴子組立教室
- ・令和8年3月15日 内田脳神経外科(室戸健康大学) 鳴子組立教室

②洋裁科

受注業者の開拓、拡大、維持に努めるとともに、利用者の障害特性に応じた作業となるよう工夫に努めた。

③理美容・鍼灸マッサージ科

- ・利用者とともに、顧客の増加に取り組むとともに、顧客のニーズを把握し、きめ細やかな接客となるよう努めた。(理美容)
- ・施術時間「60分コース」、「40分コース」に加え、新たに「15分コース」を設け、利用者が高齢になっても引き続き勤務ができるよう施術時間を短くする工夫を行うとともに、顧客の確保に努め、売上げは年々増加している。
(針灸マッサージ)
- ・諸物価高騰に伴う、料金改定を検討する。(両科)

(7) 令和5年度の決算監査において、口頭で指摘した事項についての令和7年度ホローアップ監査の結果について

○くすのき寮（グループホーム）

（１）開所日数 365 日

（２）利用者数等（令和 8/3/31）

階（定員）	実人員	生活支援員	世話人
1 階（5）	4	—	—
2 階（10）	10	—	—
3 階（5）	4	—	—
計（20）	18	1(0.7)	11(5.4)

※（ ）常勤換算割合

※生活支援員（障害者の身の回りの介助を行う職員）前年の障害支援区分 3 の利用者を 9 で除した数

（３）利用者の年齢及び帰省の状況（家族との連携）

利用者の年齢				帰省の状況（7 年度中／月）			
40 歳未満	40 歳代	50 歳代	60 歳代 以上	なし	～10 日	～15 日	16 日以上
4 名	1 名	4 名	9 名	9 名	6 名	2 名	1 名

*入院 2 名(内長期 1 名)

（４）1 人当たりの利用料月額（30 日）

（単位：円）

区 分	家賃月額 25,000 市町村 10,000 補助	光熱水費 1 日 400	食費 3 食 760 190/285/285	合計 (作業日の昼食は、 就労事業で請求)
GH/ CH	(自己負担) 15,000	12,000	22,800	49,800
3 月の状況	最高 (45,545)	最低 (29,000)	平均 (39,193)	

*令和 8 年 7 月 1 日より、朝食（190 円→200 円）、昼食・夕食（285 円→310 円）
総額 760 円→820 円（60 円増）に値上げ。

（５）行事等活動内容の報告

《行事等》

- ・令和 7 年 6 月 1 日 第 27 回障害者スポーツ大会
- ・令和 7 年 8 月 12 日～18 日 こだかさ障害者支援センターの夏季休暇
- ・令和 7 年 9 月 令和 7 年度(後期)の個別支援計画を作成
- ・令和 7 年 9 月 12 日 利用者検診(高知検診クリニック)※職員の定期健康診断は随時
- ・令和 7 年 11 月～12 月の間 利用者・職員のインフルエンザ予防接種(希望者)
- ・令和 7 年 10 月 4 日 消防訓練及び洪水・津波を想定した立退き避難訓練(自主訓練)
- ・令和 7 年 12 月 3 日 食堂ワックス掛け、厨房内清掃、1 階・2 階トイレ特別清掃
- ・令和 7 年 12 月 22 日 冬至のゆず湯(1 階大浴場)
- ・令和 8 年 1 月 1 日 新年会
- ・令和 8 年 2 月 16 日 地域連携推進会議開催
- ・令和 8 年 2 月 27 日 夜間の消防訓練(通報・避難、消火の自主訓練)及び洪水・津波を想定した垂直避難訓練(自主訓練)

- ・令和8年2月下旬 令和8年度(前期)の個別支援計画を作成
- ・お誕生会の実施 利用者のお誕生日に合わせ、プレゼントや少し豪華な食事を提供

(6) 課題への対応等

～共に助け合う共同生活～

①利用者本人の参加をもとに、サービス管理責任者、管理者、世話人等で構成する個別支援会議を開催し、課題を共有し、利用者一人ひとりの課題に応じた支援、安定した生活ができる個別支援計画を作成した。

② 家庭的な雰囲気の中での共同生活を心掛けるとともに、健康増進のため、早期の通院促進、通院の予約・送迎・同行・手話通訳の依頼・衛生管理、服薬管理・血圧の測定・記録等、日常的にきめ細かな支援を行った。

入退院を繰り返す利用者が増えており、従来になくその対応に苦慮しているが職員が協力して対応した。また、整理整頓ができない利用者も増えており、関係者の助言を得ながら、粘り強く支援を行っている。

③引き続き、新型コロナ・インフル感染防止等のため、夕食時などに、利用者に対して、外出時などは人込みを避け、マスク、手洗い、消毒を必ず行うように注意喚起を行ったうえで、それらを記した注意書を寮内各所に掲示した。

④安全な生活ができるよう、年2回の消防訓練を実施し、防災についての理解を深めるとともに、南海地震に備え(いつどこで地震があるかわからないので)自分の命は自分で守り、(頭を守り揺れがおさまったら、近くの安全な場所に避難する)生き抜くことについて周知した。

⑤新規利用者確保のため、相談事業所からの新規利用者入所に向けての見学・体験希望依頼時及びモニタリング時や、特別支援学校等の見学を通じたPRにより、積極的な新規利用者の確保に努めた。

(参考)利用者数の推移

28年度(18名)29年度(19名)30年度(18名)元年度(20名)2年度(19名)

3年度(18名)4年度(18名)5年度(19名)6年度(19名)7年度(18名)

*6年度 1名入所、1名死亡

7年度 1名入所、2名退所

⑥7年度から義務化された地域の関係者を含む外部の目を入れた「地域連携推進会議」を開催し、(1)利用者と地域との関係づくり(2)地域の人たちの施設等の理解(3)施設やサービスの透明性・質の確保(4)利用者の権利擁護について、ご意見をいただいた。

施設等を余り知られていないことを痛感し、今後とも理解の促進に努める。

○聴覚障害者情報センター

(1) 開館日数 290 日 (休館、12月29日～1月5日、祝日：合計75日)

開館時間

利用時間	月～金	土・日
相談・情報提供コーナー	9～17時	9～17時
ビデオライブラリー	9～21時	9～17時
研修室の貸室	9～21時	9～17時

(2) 事業実績

①県委託事業

ア 手話通訳者養成研修

手話通訳者養成講座修了者	通訳Ⅰ	高知市／昼・夜	22名
	通訳Ⅰ	四万十町	5名
	通訳Ⅰ	四万十市・宿毛市合同	13名
	通訳Ⅰ	香南市	8名
	通訳Ⅱ	高知市／昼・夜	12名
	通訳Ⅲ	高知市	16名

登録手話通訳者研修 5回 全体学習、通訳実技、講師による講義

*県登録手話通訳者 令和6年度(122名)→令和7年度(127名)

手話通訳者全国統一試験 合格者1名／受験者19名

イ 字幕入りビデオライブラリー事業

登録者(団体含む) 216名(個人185名、団体31団体)

貸出数 391本(ビデオ0本、DVD391本)

ウ 聴覚障害者ICTサポートセンター事業(地域生活支援促進事業)

遠隔手話通訳システム学習会 1回 参加者 9名

電話リレーサービス地域講習会 1回 総参加者 40名

遠隔手話通訳サービス 対応件数0件／総アクセス数0件

防災学習会(城西防災フェア、防災士養成講座他) 3回

②高知県身体障害者連合会再委託事業

聴覚障害者生活訓練事業(地域生活支援事業)

難聴者・中途失聴者向け手話教室 5回 総出席者数 34名

四万十市ふくし用具出張展示会 1回 総来場者数 82名

職場適応援助者養成研修修了者サポート研修 1回 総参加者 16名

高知ふくし機器展 2回 総来場者数 573名

相談支援 499件

情報機器貸数 46件

高知県広報誌(さんSUN高知)手話版製作 12回

③市町村委託事業

高知市手話奉仕員養成講座 修了者 入門編 35名 基礎編 30名

香南市手話奉仕員養成講座 修了者 入門編 26名 基礎編 20名

四万十市手話奉仕員養成講座	修了者	入門編	10名
安芸市手話奉仕員養成講座	修了者	入門編	9名
中芸広域手話奉仕員養成講座	修了者	入門編	8名
土佐市手話奉仕員養成講座	修了者	入門編	19名

④要約筆記者派遣事業

派遣件数 51 件（中止 1 件） 派遣人数 228 名
派遣サークル「やまもも」、「コスモス」、「赤とんぼ」

(3) 研修室使用状況

（701 件⇒718 件、6, 874 名⇒7, 297 名：使用料収入 2, 000 円）

①聴覚障害者関連団体	291 件、	3, 091 名
②視覚障害者関連団体	67 件、	297 名
③その他の障害者関連団体	1 件、	6 名
④聴覚障害者情報センター	281 件、	3, 286 名
⑤小高坂、県	73 件、	561 名
⑥その他	5 件、	56 名

※1 日平均利用者数 26 名

(4) 行事等活動内容

行事等

四万十市ふくし用具出張展示会（日常生活用具展示等）
第23回高知ふくし機器展（日常生活用具展示等）
城西防災フェア（手話教室、防災グッズ展示等）

研修等

4/24	遠隔手話通訳システム学習会（プラスヴォイス主催）	9 名
6/22	電話リレーサービス地域講習会（日本財団電話リレーサービス）	40 名
6/26～27	全国聴覚障害者情報提供施設総会及び大会（富山県富山市）	1 名
8/17	要約筆記者現任研修（四万十町）	2 名
9/21	要約筆記者現任研修（高知市）	1 名
11/6～7	全国聴覚障害者向け映像制作担当者研修会（愛媛県松山市）	2 名
11/13	中国・四国ブロック情報提供施設長会議（香川県高松市）	1 名
12/13～14	防災士講座（高知市）	1 名
12/21	高知県地域防災セミナー（高知市）	4 名
1/14	高知県障害者職業センター研修会（高知市）	2 名
1/16	中国・四国ブロック映像制作担当者情報交換会 (zoom)	2 名
1/23	中国・四国ブロック意思疎通支援担当者意見交換会 (zoom)	3 名
2/19	I T サポートオンラインセミナー (zoom)	2 名

(5) 課題への対応等

利用者のニーズを把握して、関係団体と協力しながら情報の発信、コミュニケーション保障、相談など一人ひとりに応じた支援に努める。また、地域の関係機関や当事者団体等との連携を深めながら、ICT 活用に関する環境整備や支援体制の充実、支援内容の検証と改善に継続的に取り組む。